

自主調査レポート

2010年7月16日

今年の夏は国内宿泊旅行と日帰り旅行が活況
自動車利用者は、高速道路の休日特別割引・無料化政策を45.7%支持
夏のレジャーに関する調査

楽天リサーチ株式会社（代表取締役社長：森 学、本社：東京都品川区、以下楽天リサーチ）と楽天トラベル株式会社（代表取締役社長：岡武公士、本社：東京都品川区、以下楽天トラベル）は、今年の夏のレジャーに関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、7月6日から7月7日にかけて楽天リサーチ登録モニター（約190万人）の中から、全国の20～69歳の男女計1,000人を対象に行いました。

調査結果概要

【総評】
今年は、昨年よりも国内旅行を中心としたレジャーを楽しむ人が多くなる結果となり、レジャーに費やす金額は「変化なし・横ばい」（59.8%）が最も多かった。国内旅行の移動手段を聞いたところ、自家用車（マイカー）やレンタカーの利用が多く、また高速道路料金の休日特別割引や無料化政策への期待度を聞いたところ、「非常に支持している」（14.5%）、「支持している」（31.2%）45.7%だったことから、今年は交通費を抑えて夏のレジャーを楽しむ傾向にあると言えるのではないかと。

■国内旅行が人気！昨年と比較して、宿泊を伴う国内旅行は9.2ポイント増42.6%、日帰り旅行は22.3ポイント増53.8%
今年の夏（2010年7月から9月）の休暇をどのように過ごすかを聞いたところ、「日帰りで行く」（53.8%）、「宿泊を伴う国内旅行に行く」（42.6%）、「帰省する」（25.5%）が多い結果となった。一方、昨年の夏（2009年7月から9月）の休暇をどのように過ごしたかを聞いたところ、「宿泊を伴う国内旅行に行く」（33.4%）、「日帰りで行く」（31.5%）、「帰省した」（21.0%）。今年と昨年を比較すると、日帰り旅行は22ポイント以上、宿泊を伴う国内旅行は9ポイント以上、帰省は4.5ポイント以上増加していることから、今年は昨年よりも国内を中心としたレジャーが賑わうと予測できる。

■国内旅行の移動手段は、自家用車（マイカー）・レンタカーの利用が断トツ、トップ
国内旅行に出かける際の主な交通手段を聞いたところ、「自家用車（マイカー）・レンタカーを利用する」との回答が多く、旅行目的別に見ると「日帰りで行く」（73.0%）、「帰省する」（61.2%）、「宿泊を伴う国内旅行に行く」（51.1%）と、過半数以上が自動車で行く結果となった。

■支持率45.7%、高速道路料金の休日特別割引や一部無料化政策はレジャーを楽しむ上で不可欠？
国内旅行で主な移動手段が「自家用車（マイカー）・レンタカー」を選択した人に高速道路料金の引き下げが影響を聞いたところ、「やや影響を与える」（39.4%）、「非常に影響を与える」（27.3%）と66.7%と過半数を上回る結果となった。また、モニター全員に高速道路の休日特別割引や一部無料化政策はレジャーを楽しむ上で支持できる政策と言えるかを質問したところ「非常に指示している」（14.5%）、「指示している」（31.2%）と45.7%に対し、「あまり支持していない」（15.9%）、「まったく指示していない」（14.8%）と30.7%で15.0ポイントの差があり、本政策における国民の期待度が見てとれた。ばらまき政策に対して賛否両論あるが、レジャーを楽しむ人々にとっては、交通渋滞が予測されたとしても旅費の中でも交通費は安くあげたい、という気持ちの表れだと言えるのではないかと。

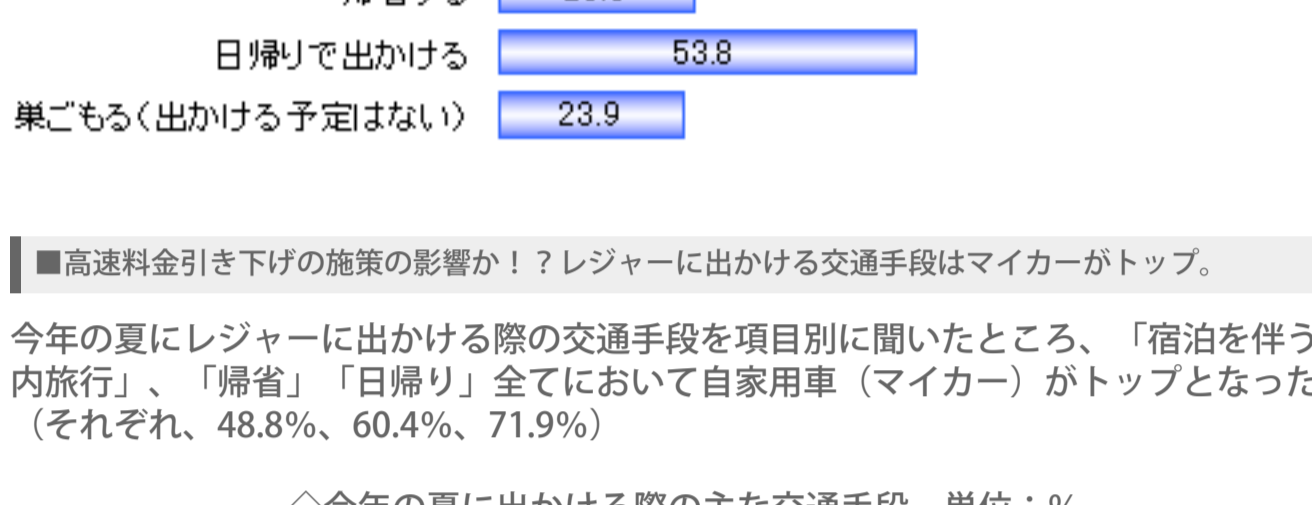
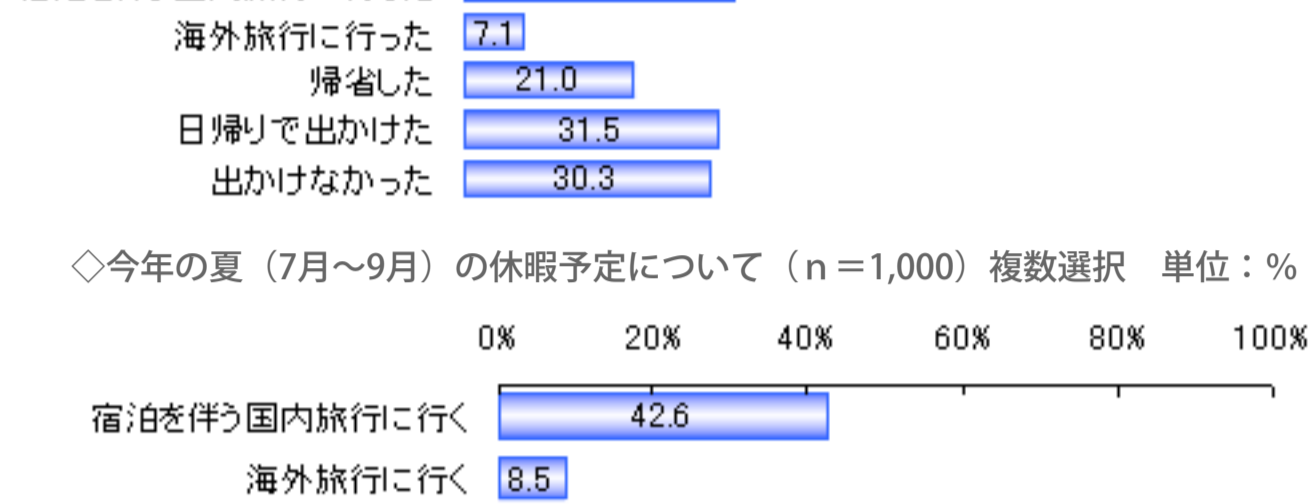
■レジャーの目的は「恒例行事」「各種夏のイベントが楽しみ」
次に、夏のレジャーに出かける人にその理由を聞いたところ、国内海外ともに「恒例行事」「各種夏のイベントが楽しみ」「休暇が取れたから」という回答が多かった。「今年の夏のボーナスが良かったから」の回答は、国内旅行（1.1%）も海外旅行（1.2%）とごく少なかったが、一般的に景気が回復してきていることが、レジャーを楽しむ人の増加に寄っていると一言しているのではないかと。
今年の夏にレジャーに出かけない理由についても聞いてみた。断トツトップは「お金がない・節約のため」で45.2%。性年代別に見ると、男性では20代がトップ（66.7%）、女性では50代がトップ（50.0%）という結果となった。

■旅行単価は「変化なし・横ばい」多数、交通費を削減して余暇を楽しむ傾向が強い
夏のレジャーに費やす予算を7月から9月での総額を聞いたところ、「変化なし・横ばい」（59.8%）、「昨年より、大幅に減らす・やや減らす」（23.1%）、「昨年より、大幅に増やす・やや増やす」（17.1%）という結果となった。昨年と比較して旅行を予定している人が多い一方で、レジャーに費やす費用には大きな変動はないことが分かる。
今年自動車を利用した国内旅行が比較的多いことから、高速道路料金の休日特別料金や一部無料化から交通費を削減して余暇を楽しむのが特徴だと分析している。

調査結果

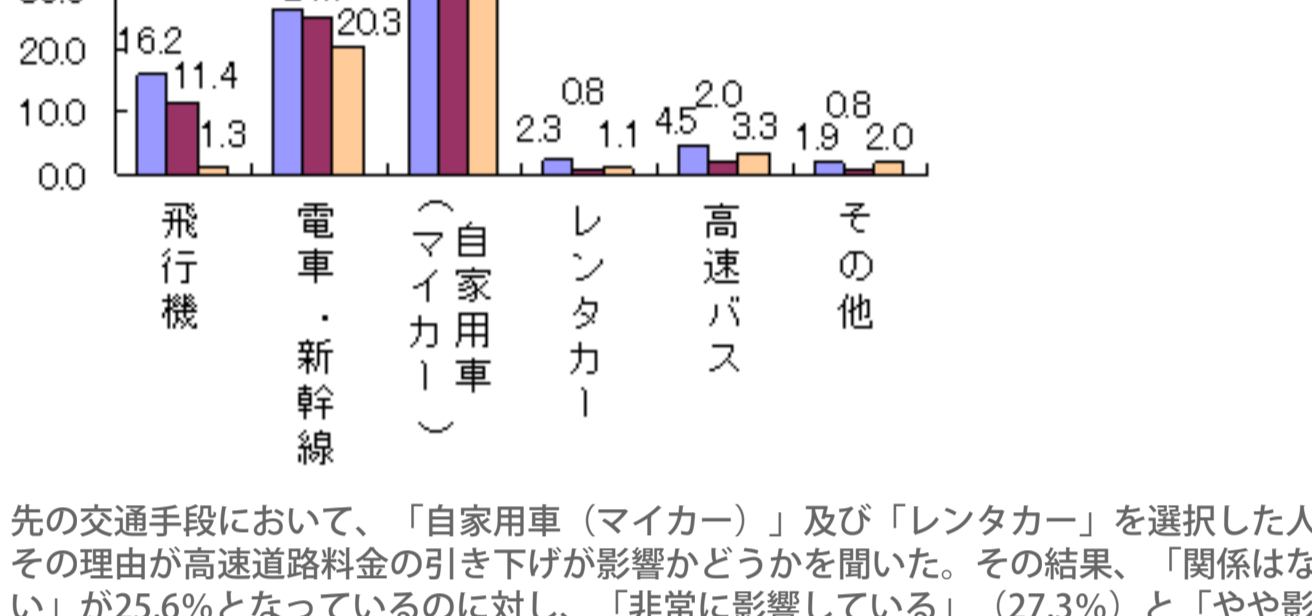
■国内旅行が活況！日帰り旅行も人気

はじめに、昨年の夏（7月～9月）の休暇をどのように過ごしたかと、今年の夏（7月～9月）の休暇をどのように過ごす予定か聞いた。その結果、「宿泊を伴う国内旅行に行った」が昨年は33.4%に対し、今年は42.6%と9.2ポイントもプラスとなった。また、海外旅行においても昨年は7.1%であったのに対し、今年は8.5%と1.4ポイントのプラスとなっている。
景気低迷のあおりを受けてか、昨年は「日帰りで行く」が31.5%だったのに対し、今年の予定では53.8%と22.3ポイントとなり、宿泊を伴う国内旅行が人気であるのと同時に、お金をかけないで余暇を楽しむ日帰り旅行も多い傾向が見られた。また、今年の夏はどこにも出掛けずに「巣籠もる」と答えた方は、昨年は30.3%であったのに対し、今年は23.9%とマイナス6.4%と下回る結果となった。

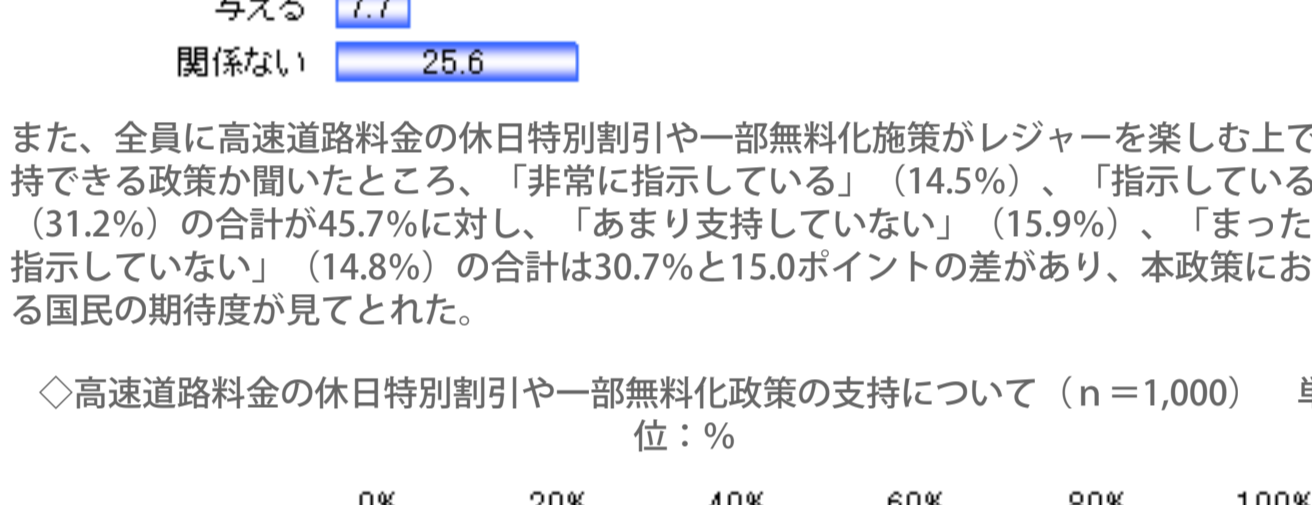


■高速料金引き下げの影響か？レジャーに出かける交通手段はマイカーがトップ。

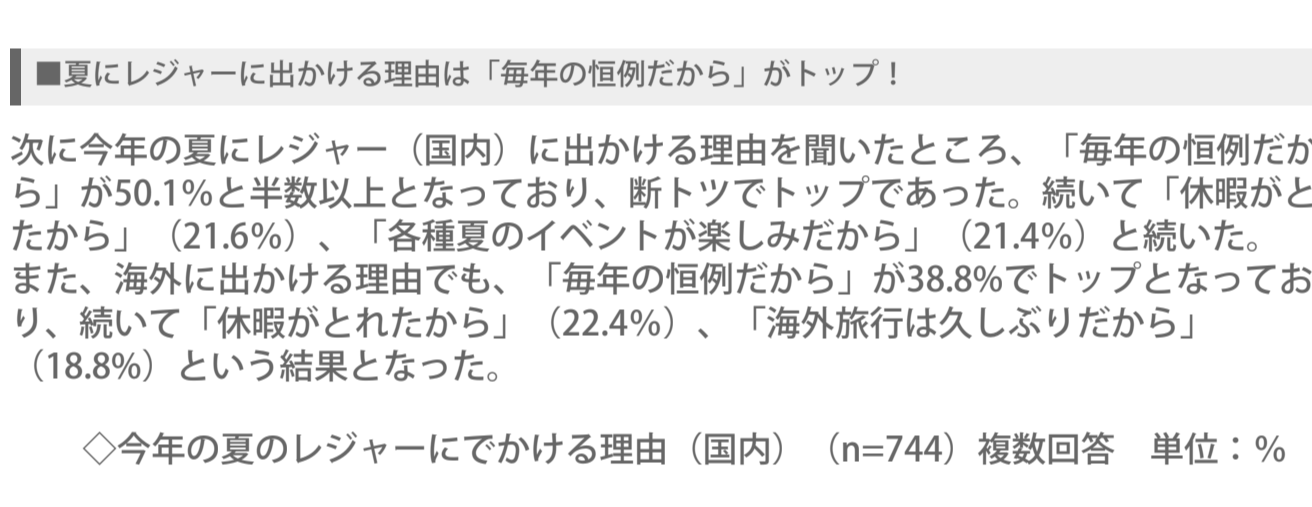
今年の夏にレジャーに出かける際の交通手段を項目別に聞いたところ、「宿泊を伴う国内旅行」、「帰省」「日帰り」全てにおいて自家用車（マイカー）がトップとなった。（それぞれ、48.8%、60.4%、71.9%）



先の交通手段において、「自家用車（マイカー）」及び「レンタカー」を選択した人にその理由が高速道路料金の引き下げが影響かどうかを聞いた。その結果、「関係はない」が25.6%となっているのに対し、「非常に影響している」（27.3%）と「やや影響している」（39.4%）は合計で66.7%と半数を上回る結果となった。

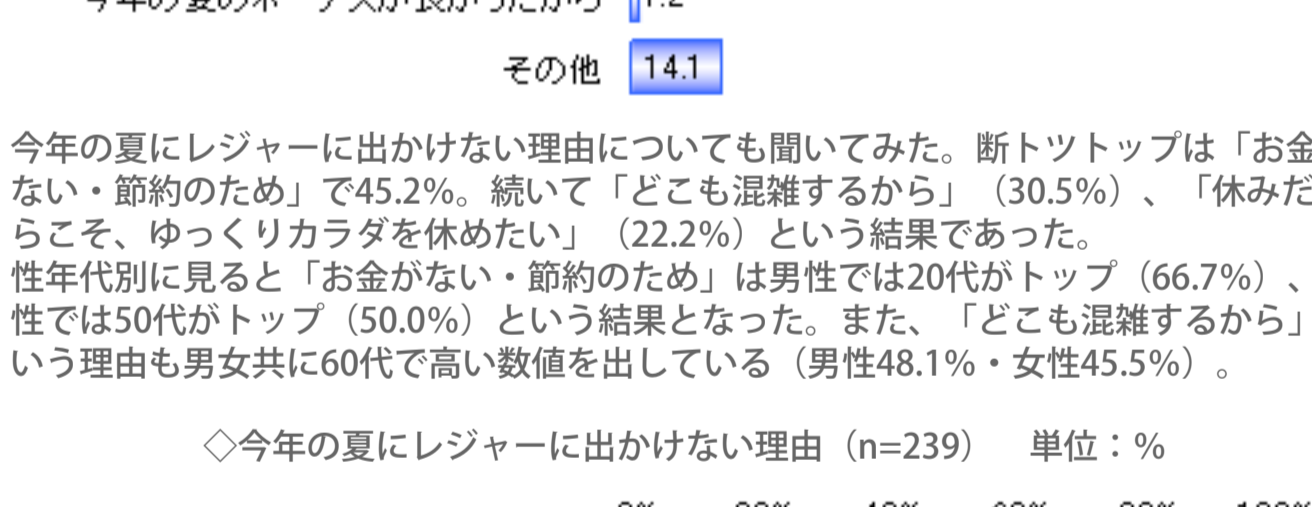
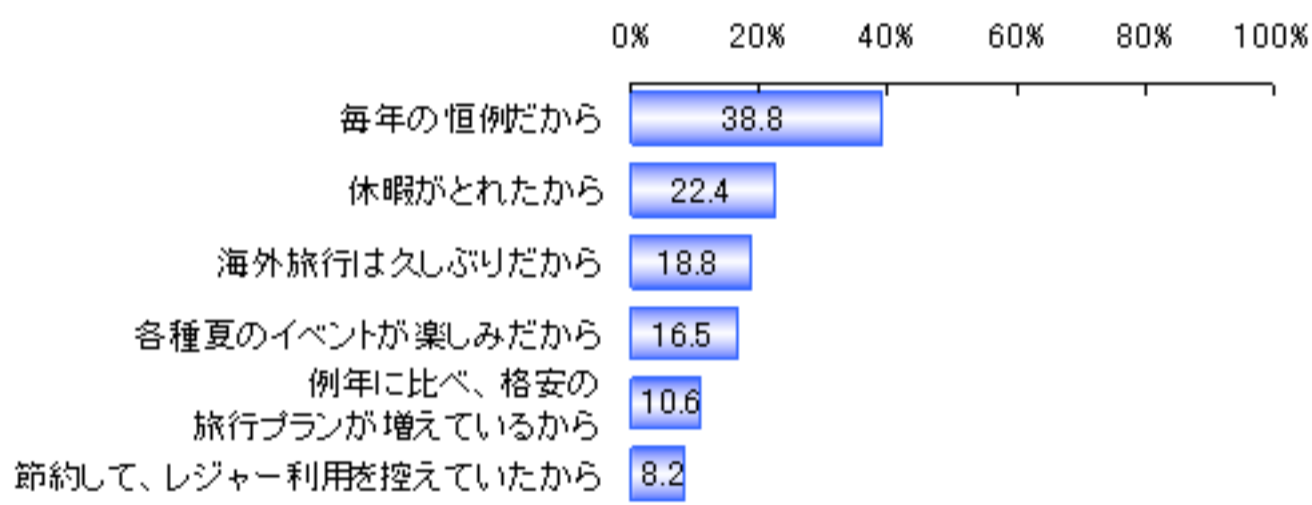


また、全員に高速道路料金の休日特別割引や一部無料化政策がレジャーを楽しむ上で支持できる政策か聞いたところ、「非常に指示している」（14.5%）、「指示している」（31.2%）の合計が45.7%に対し、「あまり支持していない」（15.9%）、「まったく指示していない」（14.8%）の合計は30.7%と15.0ポイントの差があり、本政策における国民の期待度が見てとれた。



■夏にレジャーに出かける理由は「毎年の恒例だから」がトップ！

次に今年の夏にレジャー（国内）に出かける理由を聞いたところ、「毎年の恒例だから」が50.1%と半数以上となっており、断トツでトップであった。続いて「休暇がとれたから」（21.6%）、「各種夏のイベントが楽しみだから」（21.4%）と続いた。
また、海外に出かける理由でも、「毎年の恒例だから」が38.8%でトップとなっており、続いて「休暇がとれたから」（22.4%）、「海外旅行は久しぶりだから」（18.8%）という結果となった。



今年の夏にレジャーに出かけない理由についても聞いてみた。断トツトップは「お金がない・節約のため」で45.2%。続いて「子ども混雑するから」（30.5%）、「休みだからこそ、ゆっくりカラダを休めたい」（22.2%）という結果であった。
性年代別に見ると「お金がない・節約のため」は男性では20代がトップ（66.7%）、女性では50代がトップ（50.0%）という結果となった。また、「子ども混雑するから」という理由も男女共に60代で高い数値を出している（男性48.1%・女性45.5%）。



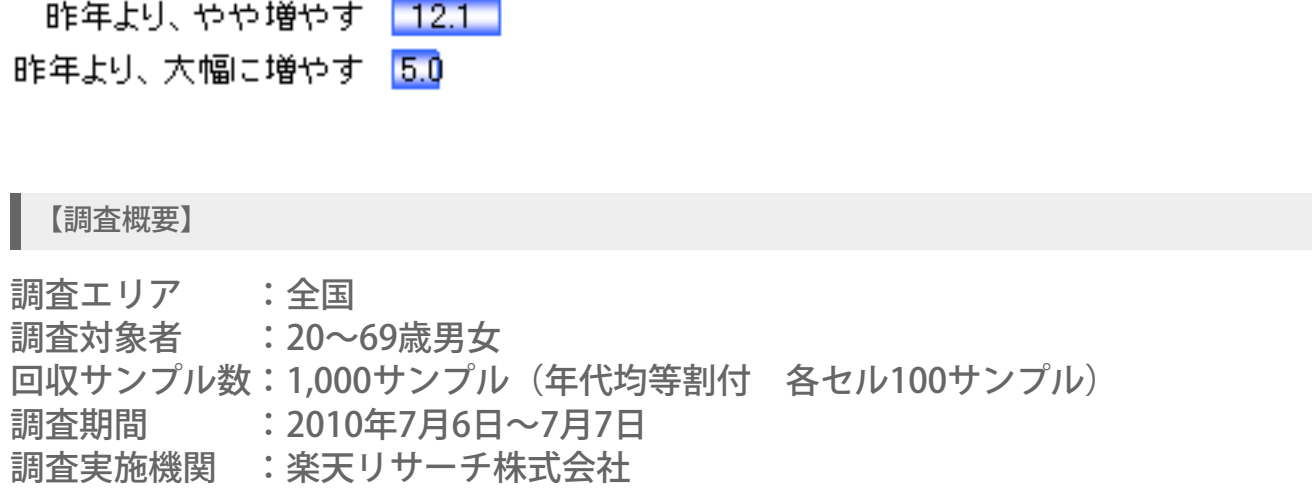
	n	取務のない・休暇がない	そもそも休暇がない	お金のない・節約の	行きたいところがない	ゆめ休みたいからカラダを休	休みをずらして出かける	子ども混雑するから	今年が夏のボーナス	その他
全体	239	13.4	43	108	48	53	22	73	8	20
性別	1000	32	180	462	201	22.2	9.2	30.5	3.3	8.4
男性	128	18	22	67	27	31	12	41	4	6
女性	111	14	21	41	21	22	10	32	4	14
年代	1000	12.6	18.9	36.9	18.9	19.8	9.0	28.8	3.6	12.6
20代	40	11	9	21	10	8	2	10	2	2
30代	100	27.5	22.5	52.5	25.0	20.0	5.0	25.0	5.0	5.0
40代	49	10	9	17	9	15	4	15	2	10
50代	100	20.4	18.4	34.7	18.4	30.6	8.2	30.6	4.1	10.2
60代	49	4	11	24	12	12	6	11	2	4
性別×年代	1000	8.2	24.5	57.1	14.3	24.5	12.2	22.4	4.1	8.2
男性 20代	52	4	5	12	9	3	1	14	2	2
男性 30代	100	7.7	21.2	46.2	23.1	17.3	5.6	26.9	3.8	3.8
男性 40代	49	3	2	18	10	9	7	23	0	7
男性 50代	100	6.1	41	36.7	20.4	18.4	14.3	46.9	0.0	14.3
男性 60代	24	5	5	16	9	8	1	8	2	0
女性 20代	1000	20.8	20.8	66.7	37.5	33.3	4.2	33.3	8.3	0.0
女性 30代	20	4	1	8	2	7	0	9	1	1
女性 40代	100	2.0	5.0	40.0	10.0	35.0	0.0	45.0	5.0	5.0
女性 50代	29	2	7	19	3	7	5	6	1	1
女性 60代	100	6.9	24.1	65.5	10.3	24.1	17.2	20.7	3.4	3.4
男性 20代	28	4	8	12	8	5	1	5	0	1
男性 30代	100	14.3	28.6	42.9	28.6	17.9	3.6	17.9	0.0	3.6
男性 40代	27	3	1	12	5	4	5	13	0	3
男性 50代	100	11.1	3.7	44.4	18.5	14.8	18.5	48.1	0.0	11.1
女性 20代	16	6	4	5	1	0	1	2	0	2
女性 30代	100	37.5	25.0	31.3	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	12.5
女性 40代	29	6	8	9	7	8	4	6	1	4
女性 50代	100	20.7	27.6	31.0	24.1	27.6	13.8	20.7	3.4	13.8
女性 60代	20	2	5	9	4	5	1	5	1	3
女性 70代	100	10.0	25.0	45.0	20.0	25.0	5.0	25.0	5.0	15.0
女性 80代	24	0	3	12	4	4	2	9	2	1
女性 90代	100	0.0	12.5	50.0	16.7	16.7	8.3	37.5	8.3	4.2
女性 100代	22	0	1	6	5	5	2	10	0	4
女性 110代	100	0.0	4.5	27.3	22.7	22.7	9.1	45.5	0.0	18.2

次に、7月～9月においてレジャーに費やす予算を聞いたところ、「1～3万円未満」が24.0%でトップとなっており、「5万円以下」の合計では53.2%と半数を超える結果となった。
また、性・年代別で見ると、男性では50代で「5万円～10万円未満」が30.6%とトップ、女性も50代で「5万円～10万円未満」が36.8%でトップとなっている。男性に比べ女性のほうがレジャーに費やす予算をかける傾向があるようだ。



	n	1万円未満	1万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～15万円未満	15万円～20万円未満	20万円以上
全体	761	7.8	24.0	21.4	23.5	9.6	4.1	9.6
性別	372	28	91	78	87	43	12	33
女性	389	31	92	85	92	37	19	40
年代	1000	8.0	23.7	21.9	23.7	7.7	4.9	10.3
20代	160	12	44	40	34	15	4	11
30代	151	13	39	37	35	11	5	11
40代	151	8.6	25.8	24.5	23.2	7.3	3.3	7.3
50代	100	13.2	25.8	18.5	16.6	9.9	3.3	12.6
60代	148	9	32	27	50	12	8	10
性別×年代	1000	6.1	21.6	18.2	23.8	8.1	5.4	6.8
男性 20代	151	5	29	31	35	20	9	22
男性 30代	100	3.3	19.2	20.5	23.2	13.2	6.0	14.6
男性 40代	76	5	20	21	17	10	2	1
男性 50代	100	6.6	26.3	27.6	22.4	13.2	2.6	1.3
男性 60代	80	5	23	19	19	5	4	5
男性 70代	71	11	19	10	11	7	2	11
男性 80代	100	15.5	26.8	14.1	15.5	9.9	2.8	15.5
男性 90代	72	5	15	14	22	9	1	6
男性 100代	100	6.9	20.8	19.4	20.6	12.5	1.4	8.3
男性 110代	73	2	14	14	18	12	3	10
女性 20代	100	2.7	19.2	19.2	24.7	16.4	4.1	13.7
女性 30代	84	7	24	19	17	5	2	10
女性 40代	71	8	16	18	16	6	1	6
女性 50代	100	11.3	22.5	25.4	22.5	8.5	1.4	8.5
女性 60代	80	9	20	18	14	8	3	8
女性 70代	100	11.3	25.0	22.5	17.5	10.0	3.8	10.0
女性 80代	76	4	17	13	28	3	7	4
女性 90代	100	5.3	22.4	17.1	36.8	3.9	9.2	5.3
女性 100代	78	3	15	17	17	8	6	12
女性 110代	100	3.8	19.2	21.8	21.8	10.3	7.7	15.4

また、この夏のレジャーに費やす予算について、昨年と比べてどう変化する予定かを聞いたところ、「昨年より、大幅に減らす」（5.9%）、「昨年より、やや減らす」（17.2%）、「変化なし・横ばい」（59.8%）、「昨年より、やや増やす」（12.1%）、「昨年より、大幅に増やす」（5.0%）の合計の17.1%に6.0ポイントの差をつけた。



【調査概要】

調査エリア : 全国
調査対象者 : 20～69歳男女
回収サンプル数 : 1,000サンプル（年代均等割り付 各セグ100サンプル）
調査期間 : 2010年7月6日～7月7日
調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社